

33

autumm 2020

無料

acty

[アクティ]

いきいき、わくわく活動する、アクティブシニアを応援!



特集1

誰でもウェルカム! 10年目を迎えた交流拠点

ふれあい処 はな 華

敬老企画「豊橋のおじいちゃん、おばあちゃん。」

特集2

開拓農家として天伯原へ移住、
荒れ地を夫と一緒に開墾しました。

特集3

「まちの居場所」参加者などの事故を補償する保険ができました!
支え合い活動参加者保険

特集 1

誰でもウェルカム！
10年目を迎えた交流拠点

ふれあい処 華



▲利用者スタッフと一緒に健康体操



▲手作り教室で作った草餅をみんなで試食

※活動の様子の写真は全て過去の開催時のものです。

高齢化が進む富士見校
区でまちの居場所をつく
りたい！と、平成23年に
「ふれあい処 華」を立ち
上げたみなさん。今年10年
目を迎え、コロナ禍で活動
を縮小しつつも息の長い
運営を続けています。まる
で知人の家へおじゃまし
た感覚で、玄関を開けると
6人のスタッフが笑顔で
迎えてくれました。

民家の扉を開けると…

富士見校区の閑静な住宅街の一角に、「ふれあい処 華」があります。庭先に「モーニングセット」ののぼりが立っています。一見すると平屋建ての普通の家。空き家になっていた民家を借りて運営されていて、週に3日、地域のふれあいの拠点として開放されています。（現在は活動を自粛・縮小し、実施する際は新型コロナウイルス感染症対策を徹底されています。）

モーニングセットをゆつくり楽しむ近所のお年寄り、近くまで来たので寄ったという方、奥の部屋では将棋を楽しむグループも。みなさん、思い思いに「華」の空間を楽しまれています。

コーヒーと紅茶はミニケーキがついて350円、トーストにサラダ、ゆで玉子、野菜のおかずがついたモーニングセットは400円。一品おかずは週替わりで、野菜がたくさん食べられると人気があります。



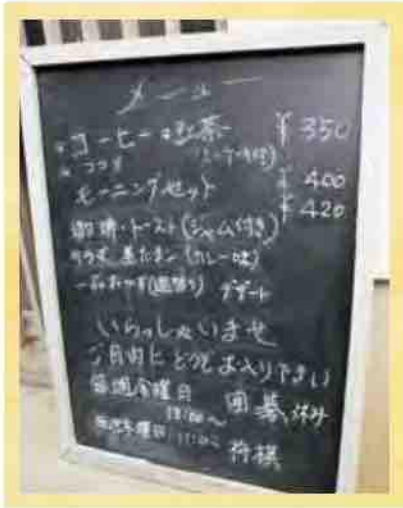
地域の心配ごとをなくしたい

「ふれあい処 華」がスタートしたのは10年前のこと。富士見校区でも高齢化が進み、一人暮らしのお年寄りの孤立・孤独に気を配る必要が出てきた時期と重なります。当時、自治会の婦人部だった竹本さんは、「自分たちの老後が気軽に、ふらっと立ち寄れる場所が作れたら・・・」と考えていました。町内会の婦人部で一緒だった、原さん、井場さんに相談して、協力してもらいながら立ち上げることになりました。

「誰でも自由に足を運んでいただけるように、近くの空き家を借り、コープあいちの福祉基金をいただきながら、玄関と階段に手すりをつけたり、リサイクルショップで家具・その他備品を購入したりして、試行錯誤

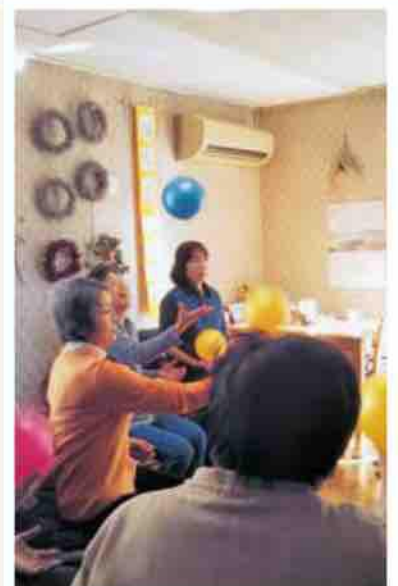
のスタートでした」と竹本さん。

その後、仲間の輪が広がり、現在はボランティア6名で運営されています。「富士見校区で開所していますが、区内だけでなく、地域外の方でも来ていただけます。認知症の方の息抜きの場所です。困ったことがあったら、市役所長寿介護課や、地域包括支援センターにつながるお手伝いができる」と竹本さん。地域の頼れる存在として、今後も活動が求められています。



まちの居場所とは...

住み慣れた場所で安心して暮らすためには、住民同士が助けたり助けられたりする関係や、ちょっとした不安や悩みを相談できる場が必要です。「まちの居場所」は、誰でも気軽に集うことができる地域の憩いの場で、その居場所を通して新たなつながりが生まれています。



▲健康ボール遊びで交流



▲手作り教室でうどん作りに挑戦



▲地域でのバザーへ出店

高齢者が安心できる地域にしたい!

「ふれあい処 ^{はな}華」は、
6人のボランティア・スタッフにより
運営されています。

自分の人生にもプラス

竹本豊子さん

富士見校区自治会の婦人部の有志が中心となって作った「ふれあい処 華」も、発足してもう10年。いろいろな人と出会うことが出来、自分の人生にとってもプラスとなりました。私も65歳を過ぎて、元気なうちにみなさんのお役に立ちたいと思っています。



歩いて5分で無理なく活動

原絵美子さん

自宅から歩いて5、6分なので、無理なく楽しくボランティアさせていただいています。スタッフのみなさんは好奇心が旺盛で、相手への気配りも素晴らしく、誰でも分け隔てなく付き合える良い関係です。そんなところも楽しくて続けています。



私の生活に必要な時間

三石文子さん

金曜日だけボランティアとしてお手伝いさせてもらっています。お茶を出したり、モーニングセットを出したりと、臨機応変に対応しています。ここに来て、いろいろな方とふれあえることは私自身の息抜きにもなっていて、生活に必要な時間となっています。



生きがいややりがいを感ずます 井場美千代さん

立ち上げで声をかけられた時、ボランティアもいいかなと思って協力しました。それからは「週に3日はここに来なくちゃ」という思いが生きがいになり、やりがいを感ずています。発起人の竹本さんはいつも一生懸命で、放っておけないと思わせる人です。



ご近所さんと顔見知りになれる 松下和美さん

週に一度、木曜日だけお手伝いしています。同じ校区でも通りが違うと住宅も背中合わせなのでなかなか知り合う機会がないのですが、ここに来るとご近所さんと顔見知りになって楽しいです。松下さんがいるから来たよと言ってもらえるとうれしいです。



若返りの場所です 山口節子さん

手作り教室のために、素材を集めたり準備をするお手伝いもしています。お正月だったら干支のものを集めたり、三月だったらひな祭りに因んだものを集めたり、作品づくりをしています。高齢になると、こんなふうな若返りの場所が必要ですね。



参加者の声

- 女性ボランティアの方々の声を聞いているだけで心が休まります。
- ここに来て、将棋の魅力にはまりました。
- いつ来てもおしゃべりに花が咲くので楽しいです。
- 近所の方同士、顔なじみが増えました。
- 妻が亡くなってひとり暮らしになってから、開いている日は毎回ここに来ます。
- 女性ボランティアとの会話が楽しいです。



ふれあい処 ^{はな}華

活動場所 富士見台2丁目29-8

開催頻度 週3回(木曜・金曜・土曜) 9:30 ~ 15:00
(第1日曜日)絵手紙教室
(第4月曜日)手作り教室

参加費 モーニングセット400円 ケーキセット350円

活動内容 将棋(金曜日)、豊橋とんとん体操、認知症予防体操(金曜日)、絵手紙教室(第1日曜日)、手作り教室(第4月曜日)

駐車場 3台分

連絡先 090-8322-2855(竹本)

※開催日は変更される可能性があります。また、現在は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動を自粛・縮小しています。

あなたも地域での 支え合い活動を 始めてみませんか?

豊橋市では、地域での支え合い活動の参考事例や立ち上げ、運営のノウハウ等を紹介しています。また、市、社会福祉協議会、地域包括支援センターや自治連合会、民生委員児童委員協議会などで構成する「お互いさまのまちづくり協議会」が、皆さんの活動を応援します。

興味のある方は、豊橋市役所長寿介護課

0532-51-2330まで、
お気軽にお問い合わせください。

豊橋のおじいちゃん、おばあちゃん。

インタビュー

柴田 そくいさん(92歳)

開拓農家として天伯原へ移住、荒れ地を夫と一緒に開墾しました。

次男の家族と天伯町にお住まいの柴田そくいさんは、足腰も達者で身の回りのことはすべてひとりでこなす元気な92歳。豊橋空襲で家を焼かれ、移り住んだ天伯の地で、夫と共に開拓の日々に汗を流されました。柴田さんたちの努力で、笹が生い茂る荒れ地だった天伯は、いまやスイカやキャベツ畑、トマトのハウス、水田が広がる一大農業地帯となりました。



▲「母は太陽みたいな存在」と話す次男の隆夫さん。仲良し親子です。

実家は小池町の駄菓子屋さん

昭和3年に豊橋で生まれた柴田さん。お名前の通り、昭和三十八年が即位した年だったので、それにちなんで名付けられたとのこと。兄弟は11人いて、それぞれ個性的な名前なので聞いています。

「とにかく子どもさんなので、小さな子どもがいてもやっていける商売をというので、母は小池神社のそばで駄菓子屋を営んでいました。店頭に並べた、柳生まんじゅう、がおいしくて、兄弟でよく食べていましたよ。子ども時代の思い出を語ります。

そんな駄菓子屋も住んでいた家も、昭和20年6月の豊橋空襲で焼失してしまいました。「柳生川の下流に向かって家族みんなで必死で逃げました。空襲は真夜中だったけれど、焼夷

弾で昼間みたいに明るくてね」と、75年前の記憶もくっきり鮮やかです。

家を失った一家は天伯原の開拓団に応募します。終戦まで陸軍の演習場だった天伯原は戦後払い下げられましたが、笹と竹林の広がる荒れ地でした。「笹と松は根っ子が固くて開墾は困難な作業でした。やっと農地にしても土壌は固くて、大根の収穫にはしが必要なほど。もともと水も乏しい地域なので、小さなさつまいもや麦、そばしか作れず、家族みんなが食べていくのに精一杯でした」

シニアカーは出番なし

朝鮮から引き揚げてきた同じ開拓農家の男性と22歳の時に結婚。弟さんからの紹介だったそうです。やがて昭和43年に豊川用水が通水したことで施設園芸への道がひらけ、農業経営は軌道に乗っていきます。

「この西沢地区には戦後30軒の農家が入ったのですが、いま農業を続けているのは我が家を含めてわずか2家族だけになってしまいました」と次男の隆夫さん。柴田家では幸いにも子と孫が農業を継ぎ、三代にわたってキャベツやお米を栽培

していらつしやいます。

書道にカラオケと趣味の多い柴田さん。書道は父の影響で始め、最近まで定期的に習いに出かけていたという熱心さ。カラオケは美空ひばりの曲が十八番だと笑います。

「お元気の秘訣は？」とお聞きしたところ、歩くことですね。毎朝、村の近所をぐるぐる散歩してくるんですよ」との返事。家族がシニアカーをプレゼントしたら「こんなの使っていたら足腰が弱るわ」と、お蔵入りになってしまったとか。「母はいつも元気いっぱい、大きな声でよく笑います。家族の中の太陽みたいな存在です」と次男の隆夫さん。いつまでも柴田家の太陽として輝き続けてほしいです。



▲90歳のお祝いに家族や親族から贈られた寄せ書き。

特集3

「まちの居場所」参加者などの事故を補償する保険ができました!

支え合い活動参加者保険



高齢者が気軽に集うことができる「まちの居場所」への参加者や、買い物・草取りなどの日常生活を支援する「助け合い活動」サービスを受けている方などの「支え合い活動」参加者の事故やけがを補償する保険ができました。保険料は市が負担するので無料で利用できます。

ここがポイント1

安心して支え合い活動ができます!

この保険により、支え合い活動団体の代表者は、参加者の万一の事故に備えることができ、安心して支え合い活動に取り組むことができます。

ここがポイント2

お互いさまのまちづくりが広がります!

支え合い活動に取り組みやすい環境が整備されることにより、さらに支え合い活動が増え、地域住民で支え合う「お互いさまのまちづくり」が広がるのが期待されます。

支え合い活動参加者保険 概要

被保険者 ● 市へ登録した団体が行う支え合い活動の参加者

保険金の限度額 ●

区分	保険金の限度額
死亡保険金または後遺障害保険金	200万円
入院日額保険金	日額 3,000円
通院日額保険金	日額 2,000円

保険の適用を受けるには、市への登録が必要です!

保険料 ● 無料

保険適用条件 ● 参加する支え合い活動団体が市へ登録(お互いさまのまちづくりネットワークへ登録)していることなど

詳しい内容は、長寿介護課で配布しているパンフレットやホームページをご覧ください。

問い合わせ先 **長寿介護課 0532-51-2330**



とよはし長寿番付



ご長寿ベスト5 (令和2年9月1日時点 年齢基準 令和2年12月31日)※生年月日順

男性

- ①石巻町……………104歳
- ②南栄町……………103歳
- ③東脇……………103歳
- ④牛川町……………103歳
- ⑤老津町……………102歳

女性

- ①岩田町……………109歳
- ②向山西町……………107歳
- ③飯村町 ……107歳
- ④大崎町……………107歳
- ⑤向山町……………107歳

日本人平均寿命 (令和元年時点 参考:厚生労働省)

男性 81.41歳

女性 87.45歳

豊橋に住む100歳以上のご長寿の方

186名 (令和2年9月1日時点)

相談無料

55歳以上対象 出張相談 in 豊橋市

～シニアの「働きたい」を応援します～

就労全般に関するお悩み、じっくり伺います!

相談日 令和2年10月19日(月)・10月20日(火)

時間 10:30～12:20 / 13:30～15:20(1人50分まで)

場所 豊橋市役所 123会議室

申込先 生涯現役就労サポートセンター

TEL052-446-6830・FAX 052-583-0585

申込みが
必要です

- *申込は電話またはFAXにて承ります(月～金9:30～17:00 土日祝除く)。
- *申込書はホームページまたは豊橋市役所長寿介護課の窓口等で配布しております。
- *予約確認のため担当者から連絡させていただきます。日中の連絡先を必ずご記入ください。
- *新型コロナウイルスの状況により、相談を延期または中止させていただく場合があります。
- *当日、熱・咳等の症状がある場合はご遠慮願います。また、相談中はマスクの着用をお願いいたします。

生涯現役就労サポートセンター

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター) 17階

URL: <http://ailabor.or.jp/guide/works/geneki>

運営管理:公益財団法人 愛知県労働協会 共催 豊橋市

情報をお寄せ ください

本紙ではアクティブシニア向けの情報を募集しています。地域において元気なシニア層が行っている活動の情報を下記までお寄せください。

問い合わせ先

豊橋市 福祉部 長寿介護課

TEL

(0532) 51-2330

FAX

(0532) 56-3810

情報提供方法

専用の情報提供用紙によりFAXまたは郵送等にて送付してください。

豊橋市ホームページ内で情報提供用紙がダウンロードできます。

【ご注意】お寄せいただいた情報は、内容や紙面の都合等により掲載できない場合があります。あらかじめご了承ください。